

社会科 学習指導案

学 級:2年B組 (26名)

授業者:竹中 正人

1. 教材(単元)名 中部地方「特色ある中央高地の産業」

2. **ねらい** 中央高地で野菜・果樹の栽培や精密機械工業が発達した理由を、自然の特色や交通の発達、戦争との関連などの資料から考えることを通して、産業が各地の自然条件や社会的条件に応じて発達してきたことを考えることができる。

3. 本時の展開 (3 / 5)

過程	学習活動	指導・援助
<p>つかむ</p> <p>考えをもつ</p> <p>深める</p>	<p>1. 課題をつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 長野県や山梨県では、桃やブドウが有名だときいたことがある。 中国・四国地方で学習した促成栽培なども行われているのかな。 精密機械工業が発達しているのは、初めて知った。どうして盛んになったのかを調べてみたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ、中央高地では、野菜・果実の栽培や精密機械工業が発達したのだろう。</p> </div> <p>2. 予想をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 扇状地では、果樹園が多いと学習したから、中央高地も扇状地といえるのではないか。 おいしい野菜や果物を作るのに適した土地だからだと思う。 東京や名古屋に商品が売れるようになってどちらも発達したと思う。 工場を建てられる広い土地があるからじゃないかな。 <p>3. 資料をもとに自分の考えをもつ。</p> <p>○自分が関心のある産業が発達した理由について、「農業」「工業」のどちらかを選択して追究する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><農業></p> <ul style="list-style-type: none"> 扇状地で水はけの良い土地や、昼と夜の気温差が大きい土地は、果実の栽培に適している。 レタスの生育適温から見ても、中央高地の気温は適している。また、日本の他の地域と適温になる時期がずれるため、出荷する時期をずらして販売できる。 交通網の整備や保冷車の普及で、都市部へのお荷が可能になると夏の冷涼な気候を生かした「高原野菜」の栽培が盛んになった。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><工業></p> <ul style="list-style-type: none"> 1919年ごろは、製糸業が諏訪湖周辺では盛んだったが、2008年になると、精密機械の工場が中心となっている。 2008年には、中央自動車道ができていたため、作った製品を離れた地域に輸送するのに便利になったと思う。 戦争前に、製糸業が栄え、技術力のある工場や桑畑の土地があったことで、精密機械業を行う企業も工場を建てやすかったのではないか。 </div> </div> <p>4. 異なる視点から追究を行った仲間と調べたことを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高速道路の整備が進んだことは、作ったものをお荷するために便利。農業でも工業でも同じことがいえると思う。 自然環境を生かして農業は行われている。野菜や果物は、中央高地の気候に適していることが分かった。 工業の発達に、戦争などの歴史が関わっているとは思わなくて驚いた。 <p>5. 全体交流をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中央高地で生産される農作物や工業製品の写真、生産額の割合を示すグラフを提示し、中央高地の産業への関心を高める。 地図帳で中央高地の位置を確認し、その後の追究活動で地形や位置にも着目して考えられるようにする。 予想の視点を示すことで、課題に対する予想や見通しをもって追究活動に取り組めるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(研究内容Ⅲ:個別最適な学び)</p> <p>追究活動が、進んでいる生徒には、さらに追究が深まるような資料をタブレットで配付し、学習の深まりが生まれるようにする。また、追究活動がなかなか進まない生徒には、着目すると良い資料やポイントを個別に示しながら、追究活動の糸口となるように支援する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 配付された資料だけでなく、タブレットで追加配付された資料や地図帳などを目的に応じて活用できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(研究内容Ⅱ:協働的な学び)</p> <p>農業と工業の視点から調べたことを、異なる視点で追究した生徒同士が交流し、考えを伝えあうことで、中央高地の産業についての学びを広げ、理解を深められるようにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>(研究内容Ⅰ:単元指導計画の工夫)</p> <p>単元を貫く課題や毎時間のまとめを明記した「振り返りシート」にまとめを記述することで、単位時間ごとのつながりを考えながら、生徒が自ら課題を解決できるようにする。</p> </div>
<p>まとめる</p>	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px;"> <p>中央高地では、冷涼な気候や扇状地などの自然環境を生かすことで高原野菜や果実の栽培が発達してきた。また、交通網の広がりや戦争との関連から精密機械工業も発展してきた。工業について調べてきたが、交流を通して、交通網の発達が中央高地の産業の発達に影響を与えている点が、農業の発展理由と共通しているのではないかと思う。</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>中央高地で野菜・果樹の栽培や精密機械工業が発達した理由を、自然の特色や交通の発達、戦争との関連などに着目して、産業が各地の自然条件や社会的条件に応じて発達してきたことを考えることができる。(思・判・表)</p> </div>

単元構想図

【単元のねらい】

中部地方の産業に関する事象を中核として、地域の広がりや結び付き、人々の対応などに着目して他の事象と関連付けながら産業の成立条件を考察し、地域的特色や地域の課題を捉えることができる。

単元を貫く課題：何が中部地方の産業を支えているのだろう。

単元導入時の意識

これまでの学習から、地域の自然条件に適応したり、自然環境を生かしたりすることで産業が発展することがわかった。また、交通網の広がりも産業の発展につながっていた。中部地方では日本海側、太平洋側、中央高地といった異なる気候を生かし、どのような産業が発展しているのだろう。

第1時 中部地方をながめ

- ①課題：中部地方を大きくながめて、特色を見付けよう。
- ②活動：中部地方を3つに分ける地域の地形や気候、人口分布や特色ある産業に関する資料から、中部地方について概要を捉える。

③生徒の意識

中部地方には、気候や地形が異なる東海、中央高地、北陸という三つの地域があり、それぞれの特色を生かした産業が発達してきた。

第2時 特色ある東海の産業

- ①課題：東海で発展している産業には、どのような特色が見られるのだろう。
- ②活動：東海の工業の特色について、交通網や貿易などの社会的条件と自然条件とを関連付けて捉える。農業の特色については、自然の特色や交通の発達などを示す資料と関連付けて読み取る。

③生徒の意識

東海では、野菜や花の施設園芸農業や茶、みかんの栽培など、温かい自然条件を生かした農業が盛んである。また、自動車工業を中心とした中京工業地帯が発達しており、交通網の発達が輸送や貿易を支えている。

第3時（本時）特色ある中央高地の産業

- ①課題：なぜ、中央高地では、野菜・果実の栽培や精密機械工業が発達したのだろう。
- ②活動：中央高地の農業や工業の特色を、冷涼な気候や扇状地などの気候や交通の発達、戦争との関連といった社会的条件と関連付けながら読み取る。また、農業と工業の視点から調べたことを伝えあい、学びを広げる。

③生徒の意識

中央高地では、冷涼な気候や扇状地などの自然環境を生かすことで高原野菜や果実の栽培が発達した。また、交通網の広がりや戦争との関連によって精密機械工業も発達してきた。

第4時 特色ある北陸の産業

- ①課題：なぜ、北陸では、伝統産業や地場産業が盛んなのだろう。
- ②活動：北陸で地場産業が発展した理由について、気候だけでなく、歴史的背景や交通網、インターネットの発達などの社会の変化といった様々な視点から調べ、考察する。

③生徒の意識

北陸では、雪が多く農業ができない気候の特色がある。そうした冬の期間を利用して、それに対応しようとする人々の願い、歴史的背景から、伝統産業や地場産業が発展してきた。

第5時 「博覧会」のポスターを作ろう

- ①課題：中部地方の産業の特色や魅力が伝わるポスターを作ろう。
- ②活動：既習の中部地方の産業の特色を踏まえ、関心のある産業の魅力が伝わるポスターをタブレットで作成し、紹介し合う。

③生徒の意識

中部地方の三つの地域の産業を支えているのは、自然条件や社会的条件であり、人々の対応や願いも大きく関わっている。ポスターを作成して、中部の魅力を見ることができた。

単元出口の意識

中部地方の産業は、各地の自然条件、歴史的背景などの社会的条件に応じた人々の努力や工夫によって発達してきた。私たちの身近な地域で発達してきた産業は、地域のどのような特色を生かしているのかを知りたい。また、地域の特色を踏まえた持続可能な産業が発展していくと良いな。